

東京都病院協会診療情報管理勉強会 第3回全体会議事録

日 時：平成 20 年 5 月 22 日（木） 18:10～20:10

場 所：東医健保会館 3階会議室

資 料：1.講演会プログラムおよび資料
2.講演会アンケート

出席者：22名

司会進行：運営委員 山本周之（練馬総合病院）

書 記：玉置、中島

【第1部 講演会】18:10～19:45

講演「DPC 導入に向けての対応～平成 20 年度診療報酬改定を踏まえて～」

田辺三菱製薬株式会社営業本部 営業統括部 営業推進部

販路推進グループ主査 中村 寛氏

質疑

- 1.診断群分類別の平均在院日数など、DPC 支払い病院の実データが一般に公表されるのはいつ頃か？（練馬総合病院 山本周之）
⇒診断群分類別の平均在院日数や手術実績に関するデータは既にインターネット上に公開されている。ただし現時点では専門家にしか分からないような内容になっており、今後は一般人にも閲覧しやすい場所・内容で公開されていくことになるでしょう。

【第2部 分科会活動報告】19:45～20:10

1. DPC 分科会

報告者 永寿総合病院 西田龍平

メンバ：DPC 準備病院及び、DPC 対象病院

報 告：①院内における DPC の運用（医療機関ごとの比較）

②診療情報管理士としての DPC への関わりかた（医療機関ごとの比較）

①について

医療機関によって運用にバラつきあり

⇒DPC 支払い病院であるのか DPC 準備病院であるのかによるもの

(支払い病院は医事課、準備病院は診療情報管理士主体で運用しているケース多い)

⇒システムの導入状況によるもの

②について

医療機関によって関わりかたにバラつきあり

⇒医療機関ごとの人員配置の問題からくるもの

(主体になっているか否かによりデータ作成の範囲が大きく異なる)

※準備病院のうちから、支払い病院になったことを想定し、業務分担を進める必要性あり

今 後：①継続して協議し標準化について9月の全体会で報告

②傷病名コーディング (.9コード、Rコードの取扱い)

③DPC 運用に関する院内周知

2. 入門分科会

報告者 森本病院 中島英俊

メンバ：13病院、16名で開始

報 告：これまでに計3回の分科会を実施

[第1回]

- ・ 年間活動計画などに関する説明
- ・ リーダーの決定

[第2回]

- ・ 分科会で勉強していくテーマについて

[第3回]

- ・ 分科会で勉強していくテーマについて

今 後：検討を進め、次のステップに進む

(管理士の資格の有無・業務の違いなど立場が様々であり、テーマ選定が難しい)

3. 統計分科会

報告者 新葛飾病院 佐藤正規

メンバ：10名

報 告：

[活動方針の策定]

1. 伝統的に作成している統計も含め、各資料がどのような意味を持つのかを整理
2. 平均値や中央値の利用のように、統計処理のスキルアップ
3. 病院機能も考慮しつつ、同じ指標への取り組み
4. 療養病棟の指標の模索
5. 診療情報管理士であるからこそできる仕事を再考、再確認

【統計分科会のビジョン】

質の高い・汎用性のある（意義ある）統計作りの提唱

【活動方針の決定】

疾病統計（年次または年間）より、数値の散らばりから読み解けること、また、数値だけでは読み解けない要因を見つけ、病院経営に役立つ情報提供を行なえるかを検討

⇒次回6月（第4回）分科会から、内容に着手の予定

次回全体会開催日時（予定） 平成20年9月25日（木）18:00～20:00